

アツくておもしろい、若手農家が糸島で活躍中です！

糸島の農業を元気に

# 若手ファーマーズの

## 古動力

NO.87



糸島市加布里  
岡健太郎さん  
(33)

今回は、糸島市加布里の岡健太郎さんをご紹介します。岡さんは北海道のご出身で、5年前に糸島に移住し就農されました。

青年部の盟友から中古で購入した22馬力のトラクターです。



奥様が経営されているゲストハウス“翼宿”です。訪れる宿泊客の9割以上が外国人という、国際色豊かな宿です。

### ◆農業経営の内容を教えてください

志摩桜井の圃場でオクラ10畝、カボチャ15畝、モロヘイヤ2畝、ウコン4畝、黒豆大豆4畝を生産しています。

今年からハーブのレモンバーベナの栽培を始め、2年後の収穫を目指しています。

福岡市内のホテルなどに野菜を販売していましたが、新型コロナの影響で注文が激減したため、収益性の高いレストラン向けだけでなく、一般消費者向けの野菜や貯蔵・加工ができる野菜も取り入れました。

妻は加布里でゲストハウスを経営しており、農業に関する管理や収穫作業などは、すべて私1人でやっています。

### ◆就農のきっかけは？

高校卒業後すぐに、北海道の農場で8年間働き、その後半年間かけて、西日本を中心に旅をしながら、農家にホームステイしました。

北海道と違う自然の風景に感動し“自然と共生した仕事に就きたい”と強く思うようになり就農を決意、徳島県小松島市にある小松島有機農業サポートセンターで半年間、野菜を中心に研修を受けました。

研修後には、さらに技術を身につけようと北海道の農家で働きました。

移住・就農する場所を決めるため、国際空港があり、さらに近くに農地や海のある土地を日本各地からリサーチし、糸島への移住と就農を決めました。

### ◆心掛けていることは？

美味しい野菜を作るため、微量要素やアミノ酸が補給できる有機質肥料を使う事を心掛けています。

### ◆将来の抱負は？

以前、規模拡大を目指して働き過ぎ、体を壊してしまったため、これ以上の規模拡大は考えていません。

その経験から、天候の影響を出来るだけ受けないような品種を選び、圃場に合った栽培方法を考えるなど、効率的に収量・収益につながる農業を目指しています。

また、本当に多くの農家の方にお世話になったので、農業のためになるような活動をしたいと思い、新規に就農する人の手助けができればと考えています。

## 届け！俺らの思い！青年部が手作り看板を設置

青年部(三坂哲弥部長)は31日、伊都菜彩の駐車場に手作り看板7枚を設置しました。

看板はすべて手作りで、青年部オリジナルキャラクターを使ったものもあり、いずれも作り手の創意工夫が活きています。

三坂部長は「支部毎に伝えたい思いがあり、その思いが1枚の看板に詰まっています。青年部の活動と農産物のアピールになればと願っています」と話しました。

看板はJA役員らが審査し、上位2作品はJA福岡県青協と



力作揃いです。ぜひ1度ご覧ください。

JA福岡中央会が主催する手作り看板コンクールへ出品します。